

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



別冊資料

令和 7 年度

雲南県土整備事務所 (仁多土木事業所)

主要事業説明資料

令和 7 年 5 月

【目 次】

予算の概要	P. 1
主要事業箇所位置図	P. 2
[道路]	
一般国道314号 湯の原工区・一般国道432号 郡工区	P. 3
(主) 横田多里線 蔵屋工区・龍ノ駒工区	P. 4
[河川]	
斐伊川水系 治水対策の推進	P. 5
[砂防]	
土砂災害対策の推進	P. 6
[維持・管理]	
橋梁耐震化の推進	P. 7
落石対策の推進	P. 8
道路施設老朽化対策の推進	P. 9
安全な道路環境の整備	P. 10
河川流下能力の確保のための対策の推進	P. 11
[農林]	
ため池整備（矢入原地区）	P. 12
〃 （大宮谷下地区）	P. 13
山地災害対策の推進	P. 14
林道専用道の推進	P. 15
[取組]	
建設DXの取組	P. 16
建設業の魅力発信	P. 17
連絡先	P. 18

予算の概要（本所＋仁多）

【全体概要】

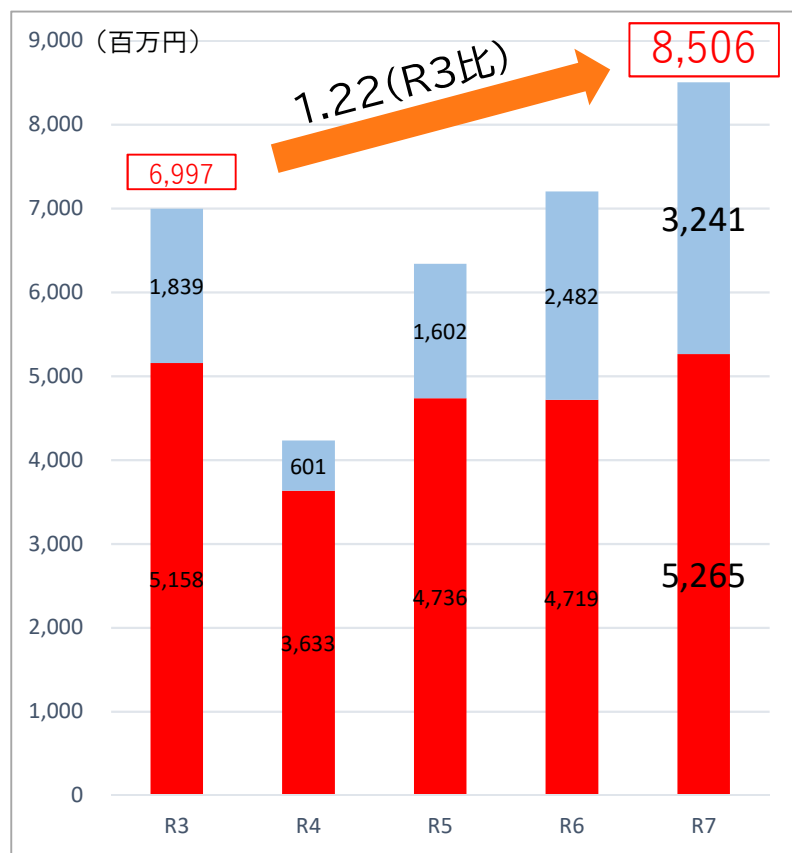
○令和7年度事務所配分額（当初分）

53億円（土木38億円、農林15億円） 対前年度比1.12

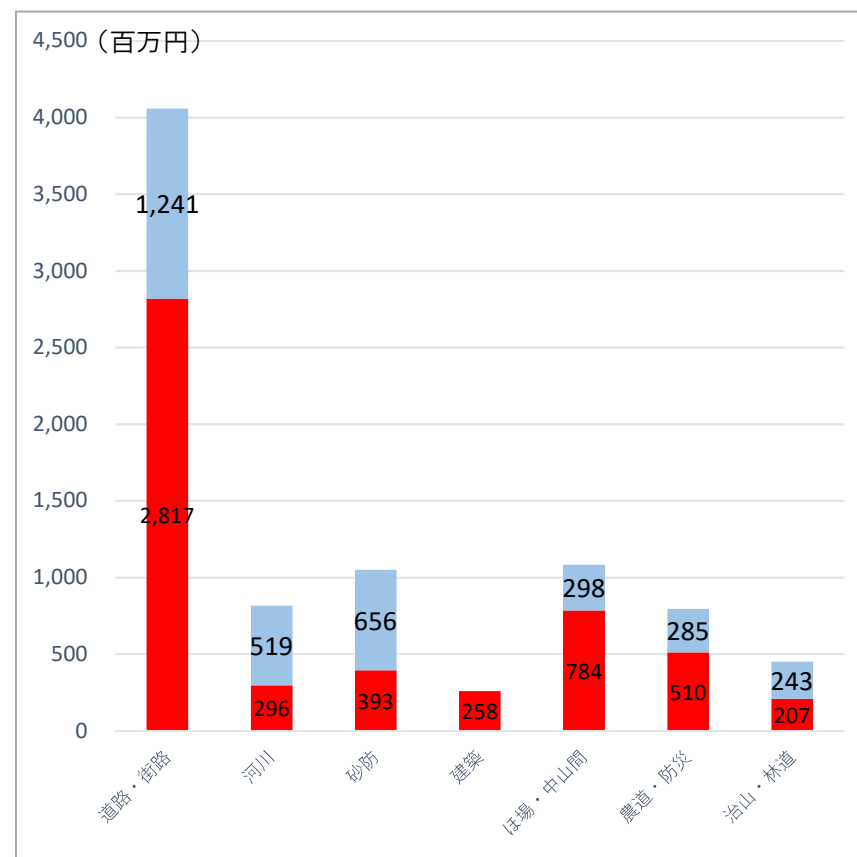
○前年度補正を含めた場合

85億円（土木62億円、農林23億円） 対前年度比1.18

予算の推移

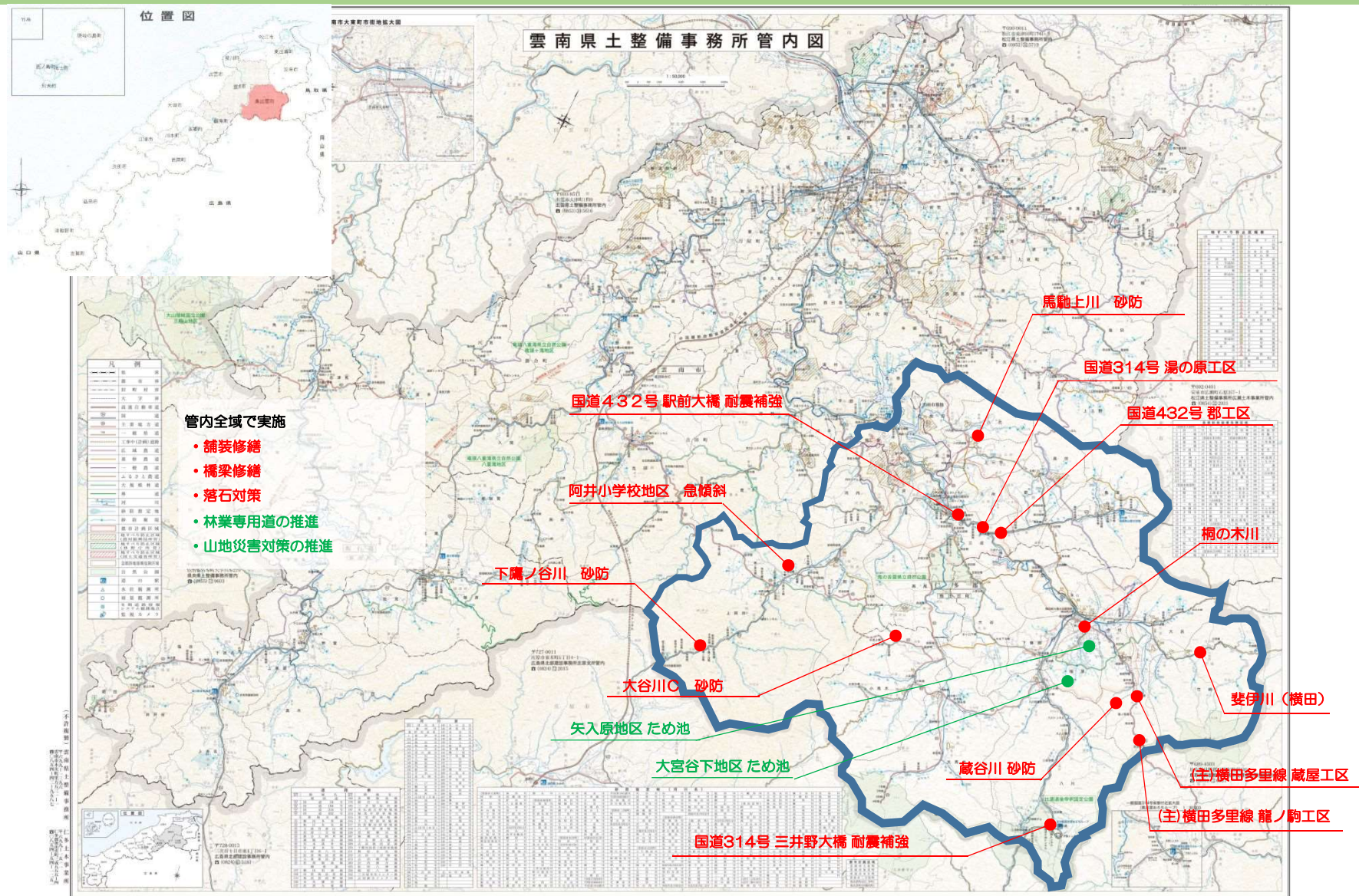


令和7年度事業別内訳



■ 前年度補正 ■ 当年度当初

主要事業箇所位置図



国道 314号 湯の原工区・432号 郡工区

R7 当初予算額 122百万円

【事業概要】

- ・ 国道432号は、松江圏（松江・安来地域）と仁多郡を結ぶ主要な幹線道路です。
- ・ 当工区は、管内の国道で唯一の未改良区間で狭隘なため、スムーズな車輛のすれ違いや歩行者の安全確保が出来ないことから、この状況を解消するため整備しています。

【事業箇所】

奥出雲町三成～郡

【R7年度事業内容】

湯の原工区

- ・ 歩道工
- ・ 舗装工

郡工区

- ・ 落石対策工
- ・ 舗装工



（湯の原工区）歩道設置



（郡工区）歩道設置

【期待される整備効果】

- ・ 未改良区間の整備により、円滑な交通が可能となるとともに松江市、安来市とのアクセス強化が図られます。
- ・ また、歩道を整備することで歩行者の安全を確保することができます。

主要地方道 横田多里線 蔵屋工区・龍ノ駒工区

R6補正予算額 30百万円
R7当初予算額 53百万円

【事業概要】

- ・ 主要地方道横田多里線は、旧横田町と旧日南町を結ぶ生活道路です。
- ・ 当工区は、**狭隘・急勾配で見通しの悪いカーブが連続する上、豪雪時には除雪作業に時間を要し、道路利用者に不便が生じていることから、この状況を解消するため1.5車線改良**を行っています。
- ・ 県境付近の工事は、鳥取県側の工事とも連携して進めていきます。

【事業箇所】

奥出雲町中村～大呂

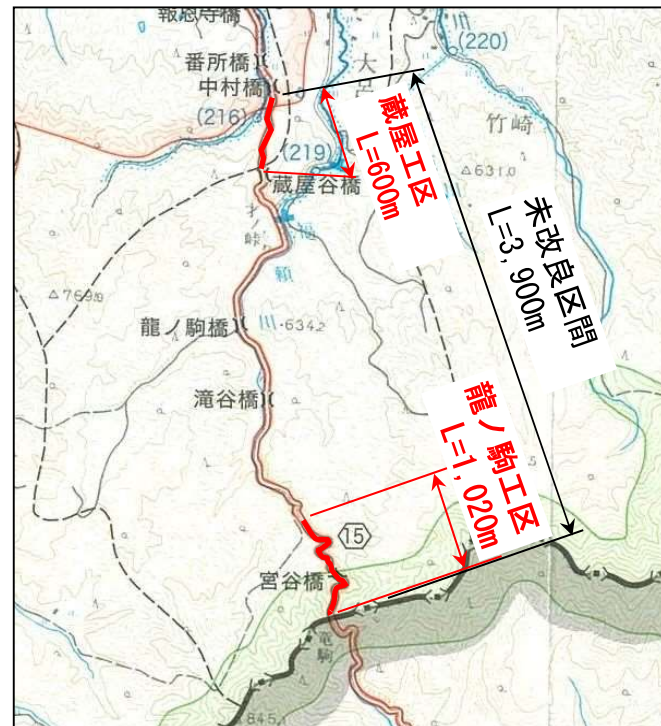
【R7年度事業内容】

蔵屋工区

- ・ 用地測量

龍ノ駒工区

- ・ 道路改良工
(局部改良)
- ・ 舗装工



【期待される整備効果】

- ・ 旧日南町上萩山地区から旧横田町商業圏へのアクセス強化が図られ、地域活性化が図られます。

斐伊川水系 治水対策の推進

R6補正予算額 40百万円
R7当初予算額 90百万円

【事業概要】

- ・ 斐伊川は、昭和60年災害を契機として河川改修に着手しましたが、上流部の未改修区間は流出土砂の堆積や取水堰のせき上げにより治水能力が不足しています。
- ・ 桐の木川は、平成元年に災害を受け、上流区間は荒廃砂防事業で整備しましたが、横田の中心部において治水安全度が確保されていません。
- ・ このため、治水安全度を向上させるため河川改修を行っています。

【事業箇所】

斐伊川（横田）	桐の木川
・ 奥出雲町竹崎	・ 奥出雲町横田

斐伊川 改修状況（奥出雲町竹崎地内）



桐の木川 改修状況（奥出雲町横田地内）



【事業計画】

斐伊川（横田）	桐の木川
・ S63～R10年代	・ H22～R10年代
・ L=3,560m	・ L=450m
・ 河道改修	・ 河道改修

【R7年度事業内容】

斐伊川（横田）	桐の木川
・ 護岸工	・ 取水堰工
	・ 護岸工

【期待される整備効果】

- ・ 河川の拡幅、河床の掘削及び堰の改築を実施することにより流下能力を確保し、沿川の家屋の浸水被害を防ぐことができます。

土砂災害対策の推進

R6 補正予算額 91百万円
R7 当初予算額 70百万円

【事業概要】

- ・ 頻発・激甚化する土砂災害から地域を守るため、対策施設の整備を推進します。

【R7年度事業箇所】

- [砂防①] 蔵谷川（奥出雲町中村）
 - ・ H24～ 砂防堰堤 2基、溪流保全工 195m
 - ・ R7 溪流保全工
- [砂防②] 大谷川C（奥出雲町小馬木）
 - ・ H31～ 砂防堰堤 1基
 - ・ R7 地籍調査
- [砂防③] 下鷹ノ谷川（奥出雲町上阿井）
 - ・ R5～ 砂防堰堤 1基
 - ・ R7 用地測量
- [砂防④] 馬馳上川（奥出雲町八代）
 - ・ R6新規～ 砂防堰堤 2基
 - ・ R7 調査設計、用地測量
- [急傾斜] 阿井小学校地区（奥出雲町上阿井）
 - ・ H31～ 擁壁工 220m
 - ・ R7 擁壁工

【期待される整備効果】

- ・ 砂防設備や急傾斜施設を整備することで人家や道路等が保全され、地域の安心・安全が確保されます。

蔵谷川（砂防） 実施状況



阿井小学校地区（急傾斜） 実施状況



橋梁耐震化の推進

R6補正予算額 60百万円
R7当初予算額 47百万円

【事業概要】

- ・ 緊急輸送道路上にある耐震性の低い橋梁（L=15m以上、複数径間、平成7年以前の道路橋示方書）の耐震補強を進めており、仁多管内では21橋のうち17橋の耐震化が完了しています。
- ・ 現在、3橋について事業を実施しています。
- ・ 令和11年度までを目途に完成させるよう橋梁の耐震化を推進します。

【R7年度事業内容】

- ・ 三井野大橋（橋長392m）
1号橋：耐震補強設計 N=1式
2号橋：橋脚補強工 N=2基
- ・ 駅前大橋（橋長55.5m）
耐震補強設計 N=1式

【R6年度完了箇所】

- ・ 雑賀大橋（橋長96m）

◆概要

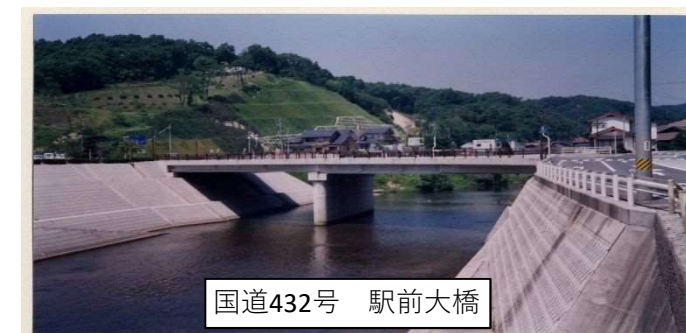
支承補強工（水平力分担構造） N=19基
橋脚補強工 N=2基



R6工事完了



国道314号 三井野大橋



国道432号 駅前大橋

落石対策の推進

R6補正予算額 45百万円
R7当初予算額 35百万円（定期点検含む）

【事業概要】

- ・「落石に係る道路防災計画」（令和2年12月改訂）にもとづき「第1段階」として、15年間（令和16年度まで）を目途に落石頻度の高い30cm未満の石を対象に対策を行います。
- ・**緊急輸送道路は、10年間（令和11年度まで）を目途に完成**させるよう対策を推進します。

【仁多管内】（ ）内緊急輸送道路

- ・要対策箇所 131（42）
うち第1段階施工 89（35）
- ・カルテ監視箇所 147（46）

※緊急輸送道路の35箇所のうち**12箇所対策完了**済み
（緊急輸送道路）

- ・国道314号・国道432号・玉湯吾妻山線の一部

【R7年度事業内容】

国道314号（八川）
落石防護柵工 N=1箇所

国道432号（上阿井）
落石防護柵工 N=1箇所
用地調査業務 N=1箇所



R5.7.3 国道432号 上阿井



R6完成箇所

国道314号（八川）落石防護柵



R6完成箇所

国道432号（上阿井）落石防護柵

道路施設老朽化対策の推進

R6補正予算額 75百万円
R7当初予算額 49百万円（施設点検含む）

【事業概要】

- ・県では、平成26年度から橋梁・トンネル等、道路を構成する主要な施設の近接目視点検を実施しており、**仁多管内**では、177施設（橋梁164橋、トンネル10本、シェッド・シェルター3基）が対象です。
- ・1巡目点検（H26～H30）で「**早期に修繕が必要**」と確認された25施設（橋梁23、トンネル1、シェッド1）の修繕が、**令和6年度に完了**しました。
- ・2巡目点検（R1～R5）で「**早期に修繕が必要**」と確認された**橋梁2橋の修繕**を完了させるよう対策を推進します。

【R7年度事業内容】

【橋梁修繕】

国道314号（三成）
湯の原跨線橋
橋梁修繕設計（JR事業調整）

国道432号（亀嵩）
恵比須橋
橋梁修繕工
（ひび割れ対策、再塗装 外）

◆早期に措置が必要な施設の事例◆

【R6年度完了】 玉湯吾妻山線（三成）
車橋（鋼桁の腐食対策、コンクリート欠損対策、漏水対策）

着手前



竣工



安全な道路環境の整備 舗装修繕事業の推進

R7 当初予算額 130百万円

【事業概要】

- ・ 安全、円滑な通行環境の整備を図るため、**舗装修繕を継続的に実施**
- ・ 舗装面のひび割れ率、わだち掘れ、道路走行中の凹凸状況および交通量を考慮

【事業箇所】

奥出雲町 管内一円

【R7 施工予定路線】

国道314号

国道432号

(一) 下横田出雲三成停車場線



国道314号(三沢) R6施工



上阿井八川線(大馬木) R6施工



印賀奥出雲線(竹崎) R6施工

河川流下能力の確保のための対策の推進

R6補正予算額 72百万円
R7当初予算額 10百万円

【事業概要】

- ・ 近年の災害に鑑み、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により実施しました。
(H30年度(補正予算)～令和2年度)
- ・ 令和3年度以降は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により事業継続し、
河川内の堆積土砂撤去や流下を阻害する**河川内の樹木伐採**に防災安全交付金事業・県単独修繕事業を効果的に組み合わせて取り組みます。

【事業箇所】

奥出雲町 管内一円

【R7施工予定河川】

斐伊川
大馬木川
三沢川
奥湯谷川
阿井川
獅子谷川

金川川(八川) R6施工



小馬木川(小馬木) R6施工



やにゅうばら

矢入原地区 農村地域防災減災事業

全体事業費 225百万円
R7当初予算額 0.9百万円

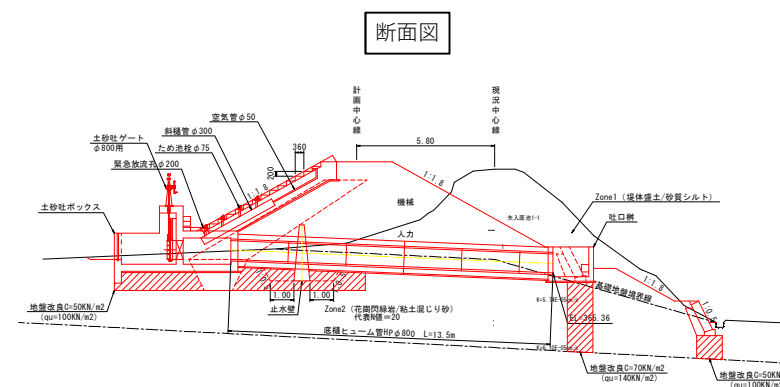
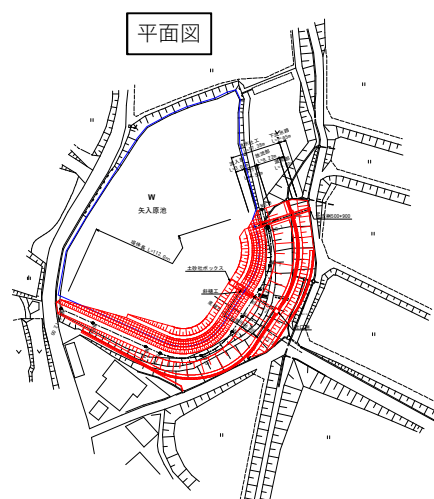
【事業概要】

事業進捗率（R6末時点）95.1%

- ・本ため池は築造後長い年月が経過老朽化が進み、堤体からの漏水も多くみられる状況である。また、耐震性も有しておらず、地震に対して不安定な状況であり、地震時には堤体が決壊する恐れがあり下流の民家や市道に多大な被害が想定されることから、本事業で耐震化を伴う改修を行う。

【事業箇所】

仁多郡奥出雲町稲原



【事業計画】

令和3年度～令和7年度

- ・堤体工(H=5.7m L=110.3m) 1式
- ・取水施設(斜樋・底樋)工 1式
- ・洪水吐工 1式

【令和7年度事業内容】

- ・付帯工 1式

【期待される整備効果】

- ・本事業でため池を改修することにより、下流地域の保全や安定した農業用水の確保による農業生産の維持が図られます。

大宮谷下地区 農村地域防災減災事業

全体事業費 241百万円
R6補正予算額 30百万円
R7当初予算額 49百万円

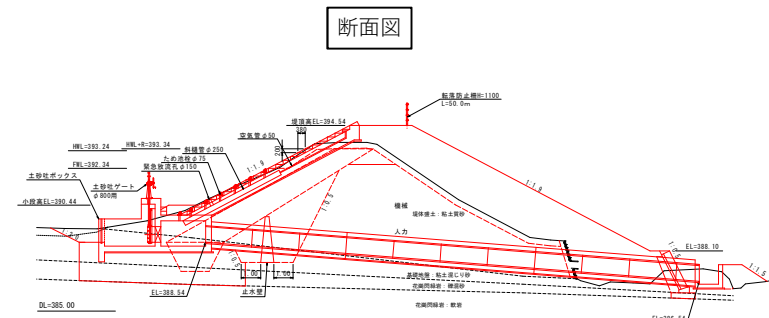
事業進捗率（R6末時点）14.9%

【事業概要】

- ・本ため池は洪水吐の断面が計画洪水量に対して不足している。また、耐震性も有しておらず、地震に対して不安定な状況であり、**地震時には堤体が決壊する可能性があり下流の民家や市道に多大な被害が想定**されることから、本事業で**耐震化を伴う改修**を行う。

【事業箇所】

仁多郡奥出雲町稲原



【事業計画】

令和4年度～令和8年度

- ・堤体工(H=6.0m L=43.8m) 1式
- ・取水施設(斜樋・底樋)工 1式
- ・洪水吐工 1式

【令和7年度事業内容】

- ・工事用道路工 1式
- ・用地買収補償 1式

【期待される整備効果】

- ・本事業でため池を改修することにより、下流地域の保全や安定した農業用水の確保による農業生産の維持が図られます。

山地災害対策の推進（治山事業）

R6補正予算額 243百万円

R7当初予算額 166百万円

【事業概要】

・保安林の公益的機能（土砂流出防備、水源かん養）を維持推進するために治山事業を推進します。

【R6補実施箇所】

<復旧治山>

下久野北地区 流路工 39.2m

上ノ段地区 谷止工 1基

大塚地区 測量設計1式

深野地区 谷止工 2基

坂本地区 谷止工 1基

<緊急予防治山>

南村地区 山腹工 1式



谷止工



山腹工（法枠工、土留工）



山腹工（落石防護柵工）



森林整備（本数調整伐工）

【R7年度実施箇所】

<復旧治山>

井儀地区 谷止工 1基、上阿井南地区 谷止工 1基、

奥畑地区 谷止工 1基

<流域保全総合治山>

尾原地区 谷止工 1基、下刈り 2.88ha

<保安林整備>（本数調整伐、除伐、下刈り）

頓原地区、仁多地区、横田地区

【期待される整備効果】

- ・谷止工や山腹工により、人家、道路、その他の公共施設を山地災害から保全します。
- ・森林整備により災害に強い健全な保安林を育成します。

林業専用道の推進（林道事業）

全体事業費 1,044百万円
R7当初予算額 40百万円

【事業概要】

事業進捗率（R6末時点）17%

県では利用期を迎えた森林を積極的に伐採し、木材として利用し、再び造林することによって、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の実現を目指しており、人工林資源が充実した森林エリアを中心に林業専用道の整備を推進しています。

【R7年度実施箇所】

入間本谷線

事業位置 雲南市掛合町入間

事業計画 L=3,970m

事業年度 R3～R10（R7開設工事 L=150m）

中村大呂線

事業位置 仁多郡奥出雲町中村

事業計画 L=6,787m

事業年度 R3～R12（R7開設工事 L=100m）

土打線

事業位置 飯石郡飯南町小田

事業計画 L=2,500m

事業年度 R1～R8（R7開設工事 L=0m）



令和2年度全線完成石休線

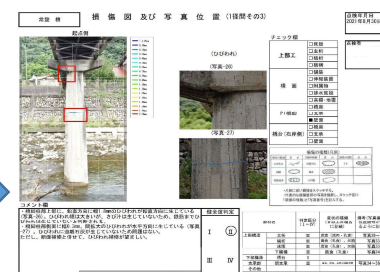
【期待される整備効果】

- ・原木の搬出が効率的になり、木材生産の低コスト化が図られます。
- ・林業をはじめとする地域の産業振興と環境保全の両立が図られます。

建設DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組

ドローンを活用した取組

- ①災害査定
- ②橋梁や砂防施設等の点検
- ③防災訓練



②橋梁点検



③防災訓練



①R6災害査定（塩谷川）



②砂防施設点検

建設業の魅力発信の取組

雲南県土広報部会

- ★各部の若手職員で構成
- ★管内小学校4～6年生児童に配布する建設業こども新聞「ミライ★ビルダーズ新聞」を企画・制作
- ★イベントを活用したブースの出展・パネル展示等（コスモス祭、おろち湖祭）



広報検討部会（部会の様子）



コスモス祭への出展（R6.10）



雲南県土HP



ミライ★ビルダーズ新聞

しまねの建設担い手確保・育成

★普通高校へのアプローチ

高校生に建設業や建設系公務員を認知し、大学の建設系学科や建設業を選択肢の一つとして考えるきっかけづくり。

[三刀屋高校] 令和6年12月12日 16時～17時

・進路指導部の協力により、1～2年生で将来の就職先として建設業、島根県職員に関心のある生徒に声掛けしてもらい、出席者7名に対して説明会を実施



[三刀屋高校]



[横田高校]

[横田高校] 令和6年12月18日 15時20分～16時10分

・進路指導部の協力により、ホームルームの時間を提供いただき、1年生62名に対して説明会を実施

<アンケート結果>

- ・説明会へ参加して、建設業又は島根県職員に4割（62名中26名）が興味を持ったと回答
- ・島根にもやりがいのある仕事があり、建設業は働きやすい職場などのイメージを持てた。
- ・中学のころから島根で働きたいと決めていたので、後押しになった。
- ・女性もたくさんいて、（建設業は）男性の仕事というイメージが変わった。

連絡先（仁多土木事業所）

[項目]	担当課		電話番号
[道路] [河川] [砂防]	仁多事業所	工務課	0854-54-1253
[維持・管理]	仁多事業所	維持管理課	0854-54-1235
[農林] [ほ場] [ため池] [農道] [治山] [林道]	農林工務部	農村整備課	0854-42-9540
		ほ場・防災課	0854-42-9542
		農道整備課	0854-42-9553
		治山・林道課	0854-42-9564